

和歌山県田辺湾に最近漂着した2個目のモダマ（マメ科）の種子

久保田 信*

Shin KUBOTA : The second recent case of a seed of *Entada phaseoloides* (Leguminosae)
being washed ashore in Tanabe Bay, Wakayama Prefecture, Japan

モダマ *Entada phaseoloides* MERR. は広く東南アジアや南太平洋に分布するが、和歌山県田辺湾にもその種子が稀に漂着する（久保田ほか, 2004）。これまで田辺湾からは、2003年10月に著者が京都大学瀬戸臨海実験所前浜の通称“北浜”で発見した1個（長径45 mm・短径36 mm・厚さ15 mm・発見後2ヵ月後の重量14.9 g）が漂着している記録のみであった（久保田ほか, 2004）。今回、同じ場所に2個目の種子が、2006年7月22日に漂着したので記録する（図1）。このモダマは、長崎大学教育学部生物学教室の中西弘樹教授に同定して頂いたので、深謝致します。

今回漂着したモダマの種子は、長径・短径ともに45 mm, 厚さ14 mmで、半月後の重量が13.7 gであった。この種子も、北浜に最初に漂着した種子とほぼ同じ形状と重量であった。なお、今回の種子には、漂流中にコケムシ類の2群体やエボシガイが数個体付着していた。

引用文献

久保田 信・岡村親一郎・湊 宏・中西弘樹, 2004 :
和歌山県田辺湾周辺海域に最近漂着したモダマ（マメ科）の種子. 漂着物学会会報, (9), 2.



図1 和歌山県白浜町京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に2006年7月に漂着したモダマの種子

* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所